

2023年もあと僅かとなり、各校園等では学期末に向け、慌ただしい日々をお過ごしのこととお察しいたします。また、指導員の方々にはお忙しい中、定例補導等で本年も大変お世話になり、ありがとうございました。

今年もコロナ禍ではありましたが、予定されていた会議やイベントを無事に開催することができました。重ねてご協力に感謝いたします。

また本年も、中学校・高等学校補導連絡会や高等学校補導連絡会において、各校の現状や育成センターの補導状況の情報交換をしましたが、特別大きな問題もなく、毎回この地域の落ち着いた現状を再確認しています。ありがたいことです。

## 善行少年表彰

令和4年度の善行少年表彰式が11月7日に玉島警察署で行われ、本市から2人の中学生と、小学校の団体1組が受賞の栄誉を受けました。新聞等でご存知の方も多いと思いますが、改めてご紹介いたします。

《個人の部》

かしはらこうたろう

**柏原弘太郎さん**（寄島中学校3年生）

生徒会長として、これまで行ってきた校内のボランティア活動を地域に貢献できる形に発展させようという提案をし、実現させた。部活動では野球部主将として下級生の模範となり、他校との合同チームが機能するよう気を配っている。また、町おこし地域プロジェクト「よりしまみつけ隊」のメンバーに入り、イベント運営の手伝いや会議への参加などを積極的に行っている。



みずのはる

**水野羽琉さん**（金光中学校3年生）

生徒会執行部に所属し、生徒会長を務めている。生徒会長として、学校行事の企画・運営に積極的に取り組み、学校全体を引っ張っている。何事にも前向きに取り組み、誰に対しても親切に接し、周りの人から頼りにされる姿は他の模範となっている。



《団体の部》**六条院小学校児童会**

児童会で学校をよりよくするために何が出来るかを年度当初に話し合い、毎朝のあいさつ運動、グッズ作成、あいさつ標語での「あいさつロード」の設置などの計画を立てた。

また、あいさつキャラクターの制作企画においては、児童全員があいさつキャラクターを一つずつ考え、投票によって学校のあいさつキャラクターを決めることができた。



## 街頭キャンペーン実施！！

7月に引き続き11月9日（水）に、鴨方駅周辺と金光駅周辺において、街頭キャンペーンを実施しました。「守りたい大切な自分、大切な誰か」という警察庁・文部科学省から配布されたチラシや、「なくそう犯罪！みんなでつくろう安全・安心なまち」という岡山県警察・岡山県防犯協会から頂いたチラシを配りながら、通勤通学の方々に広報活動を行いました。すでに恒例になっている、山陽高校野球部の選手たちも、掃除の手を止めて一緒に活動してくれました。そして、“おはようございます！”という元気で爽やかな声が、駅構内に響き渡っていました。いつもありがとうございます(^-^)



鴨方駅改札口付近には笠岡放送の方が取材に来ています。



この日は約20名の野球部員の方にお世話になりました。



金光駅でも指導員の方や青少協の方々が活動されました。

## 心にとめておきたい「先輩教師の言葉」

2020年の「教育ジャーナル」という教育雑誌に掲載されていた記事です。著者が『授業を参観する際の視点として、授業者へのアドバイスとして、有効に活用してください』と書いてくださっていたので、遠慮なく活用させていただきます。（一部省略）

### ●教育とは

- ・教育は肥しを与えているようなもの。その効果はすぐには現れない。
- ・電化製品は10年保証、教師は10年後補償。
- ・一人の子どもには、何人もその子を自分の命よりも大切だと思っている人がいる。

### ●子どもとは

- ・子どもは褒められるために学校に来ている。
- ・子どもはできるだけ早い評価を求めている。いつまで待たせるつもりなの。
- ・誰かを叱ると、他の子どもは目をそらす。誰かを褒めると、他の子どもはその子を見る。

### ●教師が意識しておくべきこと

- ・「手を出す、口を出す」より「手を貸す、耳を貸す」。
- ・教師の気が済むのか、子どもの気が済むのか、どちらが大切か。
- ・文献や先輩教師より、子どもから学ぶことの方がはるかに多い。
- ・教師ってプロフェッショナル。さて、どんなところがプロフェッショナルなのか。

### ●これまでの指導を見直す

- ・「できる人は？」、自信のない子は答えてはいけないのか。
- ・「～さんに付け足して・・・」は～さんに失礼だ。
- ・「皆さん、よく頑張りましたね」皆さんとは、誰のことか。

### ●教師以外にも共通すること

- ・「すごい」は二種類。誰にでもできないことをすることと、誰にでもできることを続けること。
- ・人から頼まれた仕事は先にして、自分のことは後からする。それが礼儀。
- ・支援とは支え、いつかは取り除くためにある。

先日、ある小学校の下校時に、並んでいない6年生男子に、女性の先生が声を掛けました。『どっちの背が高いの?!』と優しく柔らかく。すると二人は黙ってスッと並びました。『早く並びなさい!』と叱るのでなく、こういう言葉を掛けるセンスのある先生に脱帽しました。聞く側の子どもの気持ちも、よく分かっていらっしゃるのですね。